

泉地域包括支援センター

リンデンバウム便り

発行：泉地域包括支援センター

リンデンバウム

〒010-0817

秋田市泉菅野二丁目17番11号

TEL 896-5960 FAX 864-3006

E-mail : izumi-houkatsu@pure.ocn.ne.jp



泉社会福祉士から

防犯対策としてできること



連日世間を賑わせている「闇バイト」「強盗事件」ですが、報道によると、秋田でも不審者の訪問が確認されているそうです。関東で多く発生している事件では、リフォーム等の訪問業者を装って家屋内に入り、資産状況を事前に下見していたとのこと。もしも不審な訪問があったら、家には絶対に入れないでください。家族構成や資産状況に関わることを聞かれても、絶対に答えないでください。

少し前に話題になった「アポ電」にも要注意です。同じように業者や公的機関を名乗って電話をかけ、家族構成や資産状況を聞き出そうとします。そのような質問があったら、すぐに電話を切りましょう。常に留守番電話機能にしておき、不審な電話には出ない方法も有効です。

なお先日、秋田市の80代女性のキャッシュカードを不正に入手し、現金約150万円を引き出して盗んだとして、20代の容疑者が逮捕されました。容疑者が犯罪に至ったきっかけは、闇バイトだった可能性があるようです。もしも警察官や金融機関職員等を騙る人物が現れ、「キャッシュカードを取りに来た」と言われても、決してキャッシュカードを渡さないでください。暗証番号も教えてはいけません。

それから、防犯グッズの活用も、自分を守る手段です。まずは、戸締りをしっかりすることが大事ですが、最近よく言われているのは、窓ガラスに防犯フィルムを貼る方法です。これによって、窓ガラスが割れにくくなりますし、割れるまで何度も叩く必要がある為、音が出て時間が掛かります。こうなるとリスクが高いため、侵入を諦める人が多いと思われます。また、防犯フィルムは災害時の窓ガラスの飛散を防ぐ効果もあります。

また、日頃からご近所さんとコミュニケーションを取っておくことも防犯に繋がります。何かあった時に異変に気付いてもらいやすいですし、例えば近所に不審者がいた場合の情報等も入ってきやすくなります。

不審な電話は無視！不審者がいたら警察に相談！

防犯グッズの活用も有効！ご近所さんとは日頃から挨拶を！

⇒QRコードを読み取りするとホームページへ！(^)!

当センターの活動状況などご覧くださいww





緊急通報システムについて学びました！！

泉・保戸野地域 高齢者支援ネット&ケアマネカフェ「かだるべカフェ」で緊急通報システムについて学びました。今回は保戸野地区コミュニティセンターで実施し、保戸野地区の民生児童委員の皆様にもご参加いただきました。

昨年度までは緊急時に駆けつけてくださる協力員が原則 2 名以上とっていましたが、昨今の家族形態の変化などがあり、利用が難しい方もいらっしゃいました。こういった状況を鑑み、今年度より、より利用しやすい制度への変更がありました。講話をしてくださった長寿福祉課の方から「いざという時に使えないと意味がないため、若いうちから利用に慣れておくことが大切」との説明もいただきました。ご利用に関心がある方、説明を聞いてみたい方などおりましたら、ご連絡ください。

主な変更点	令和5年度	令和6年度
協力員	原則2名以上	原則必要
お元気コール	毎週1回	毎月1回
安否センサー	あり	なし
料金	660円～1320円	330円～660円



実習生がお世話になります

例年看護師になるために学んでいる学生さんたちが、在宅看護実習で当包括を訪れます。皆さま方のお宅に訪問をさせていただくこともあるかと思いますが、未来を担う若者達のため、ぜひご協力をお願いします。ここに、実習生の記録の一部を掲載します。

- ・利用者さんの自宅へ訪問するなど緊張したが、利用者さんとの会話の様子や他職種の方と連携しながら、利用者さんの暮らしをサポートしていく過程をみることができ、地域包括支援センターの役割について理解することができた。
- ・初めて訪問に行ってみて、利用者だけでなく家族からの意見の大切さが改めて分かった。今日訪問したご家族（妻）は自分の思いを伝えられる方だったが、自分の思いを話せない方もいると思うので思いを引き出す役割、スキルも大切になってくると思った。
- ・チラシ配りをして、地域の方々にセンターのことや、相談場所について知らせることができ、役割のひとつを理解することができた。自分自身も地域の一員、看護職の一員として地域社会に貢献できたと感じた。

学生さんの成長は、私たちの励みにもなります。温かく見守って頂ければ嬉しいです。



〔編集後記〕

先日、昼食サロンに参加した皆様にフレイルについての講和をしました。最近よく耳にする「フレイル」についてご存知ですか。

年をとって心身の活力が低下した状態を「フレイル」といいます。介護が必要になった主な原因のうち、フレイルの占める割合は加齢とともに増加します（80代後半で3割程度）。社会とのつながりを失うことがフレイルの最初に入口のため、サークルやボランティア活動など、興味のあることから取り組んでいただくことをお勧めします。（佐々木）

